

SDGsとインパクト金融

令和元年9月6日

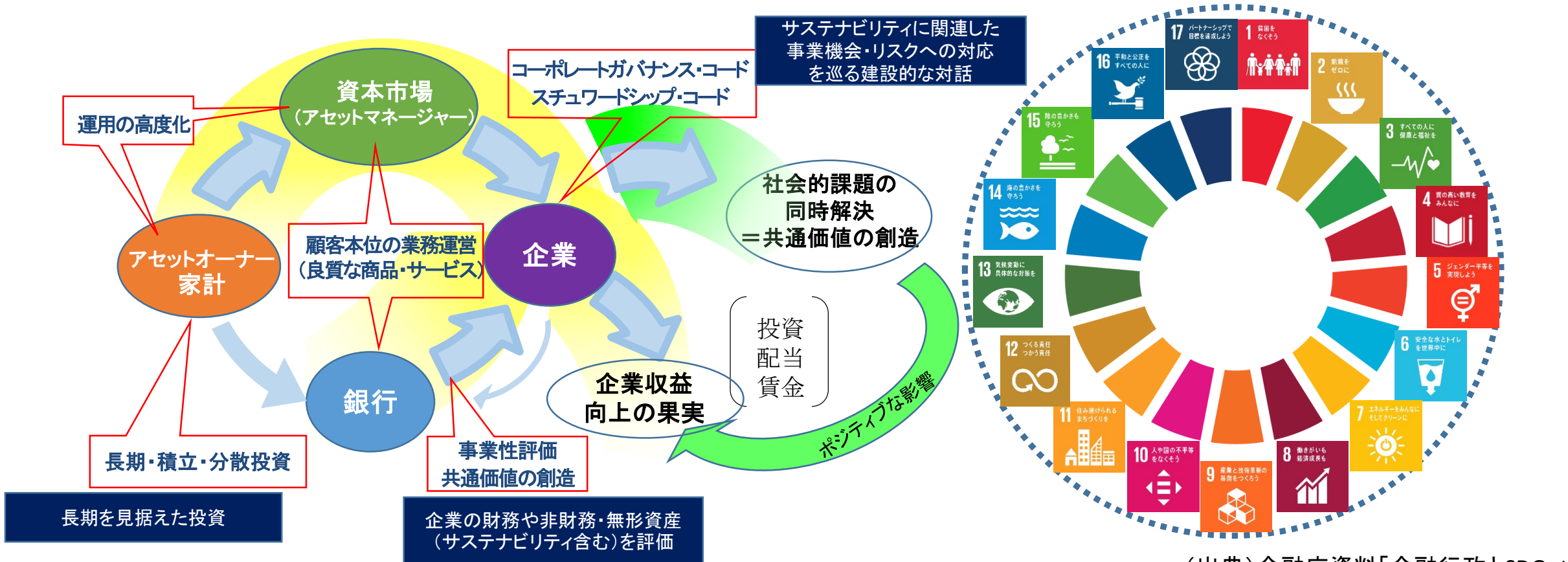
池田 賢志 金融庁CSFO

本資料の内容のうち意見にわたる部分は、あくまで作成者個人の見解であり、作成者の所属する組織の見解ではありません。

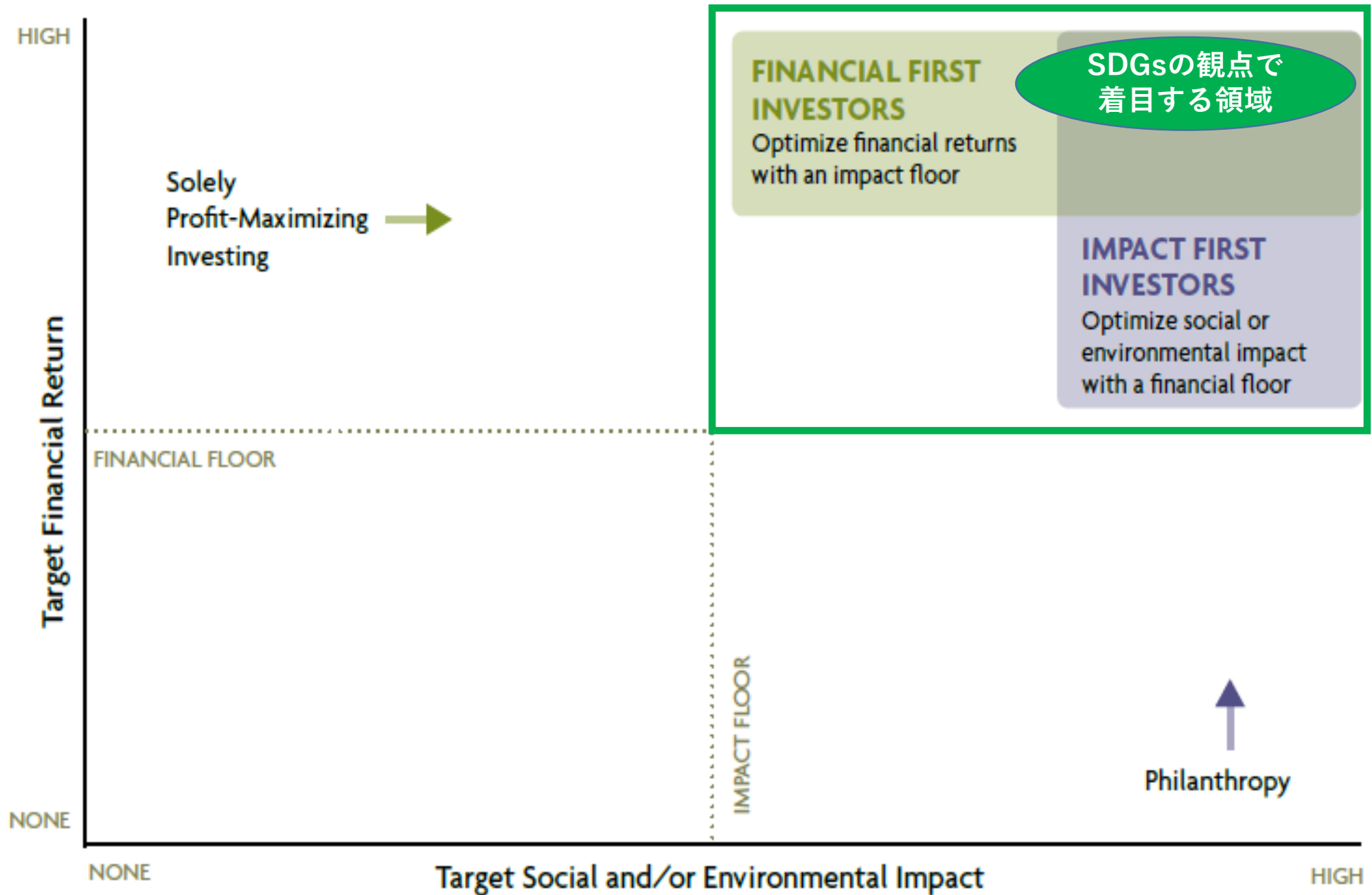
SDGsと金融行政

- 日本政府として推進している持続可能な開発目標(SDGs)は、企業・経済の持続的成長と安定的な資産形成等による国民の厚生を増大を目指すという金融行政の目標にも合致するものであり、**金融庁としてもその推進に積極的に取り組む**
- SDGsは、本来的には企業・投資家・金融機関といった各経済主体が自主的に取り組むべきものであるが、何らかの要因でそうした動きが妨げられて外部不経済が発生している場合には、**経済全体としての最適な均衡の実現**に向け、当局として促すことも必要

(注)但し、その場合でも、SDGs推進のために各経済主体や金融市場における経済合理性が歪められることは適切でなく、金融庁としては、SDGsやESG金融の動きが、中長期的な投融資リターンや企業価値の向上につながる形で実現されるよう、各経済主体の自主的な対応を引き出すことを基本的な方向性とする



中長期的な投資リターンの向上・企業価値の向上に繋がる形で実現(その1)

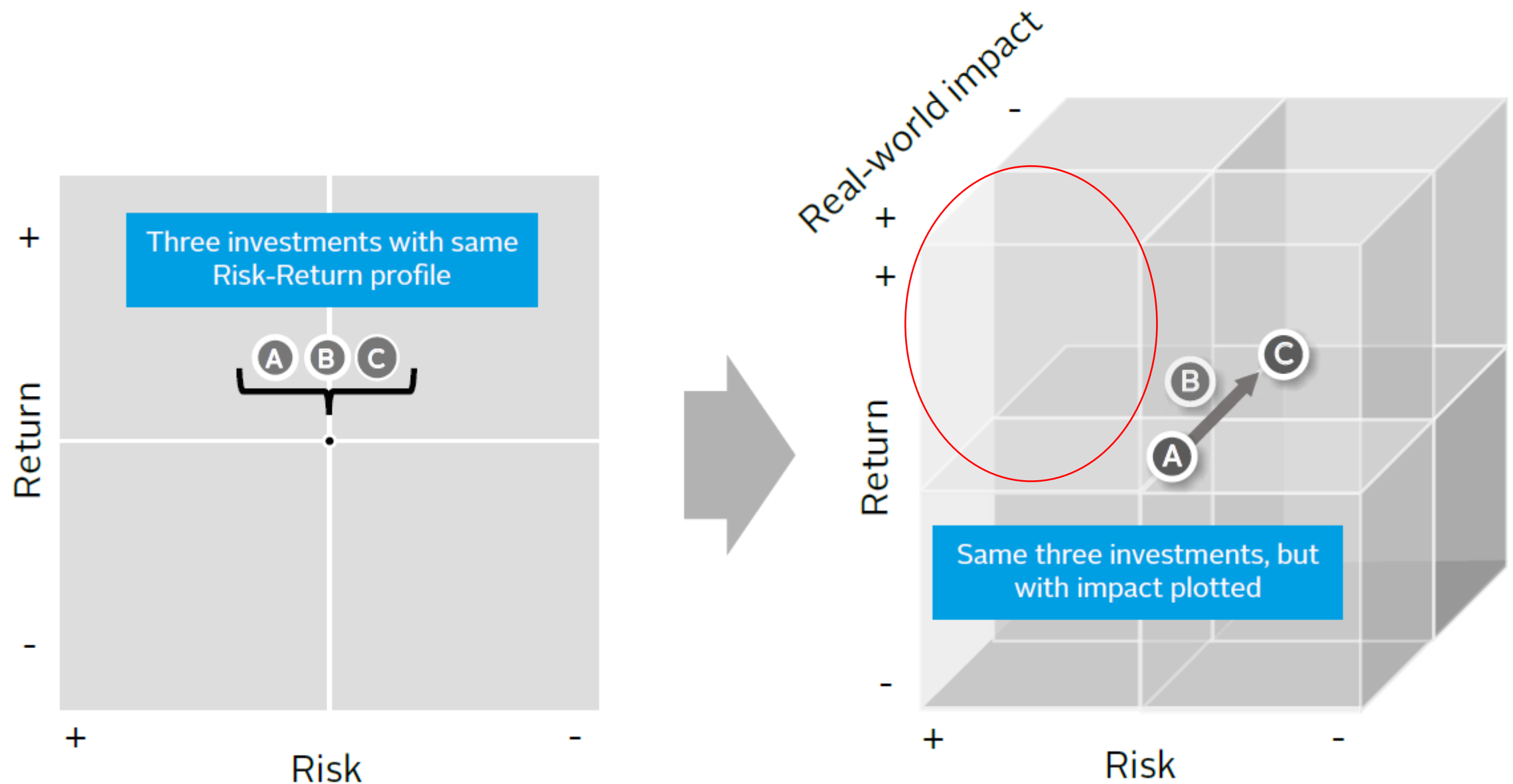


中長期的な投資リターンの向上・企業価値の向上に繋がる形で実現(その2)

Financial-only	Responsible	Sustainable		Impact		Impact-only
	Delivering competitive financial returns					
	Mitigating Environmental, Social and Governance (ESG) risks					
		Pursuing Environmental, Social and Governance opportunities				
			Focusing on measurable high-impact solutions			
			Competitive financial returns			
			Below-market financial returns			
		Adopt progressive environmental, social and governance (ESG) practices that may enhance value	Address societal challenges that generate competitive financial returns for investors	Address societal challenges which may generate a below-market financial return for investors	Address societal challenges that require a below-market financial return for investors	Address societal challenges that cannot generate a financial return for investors

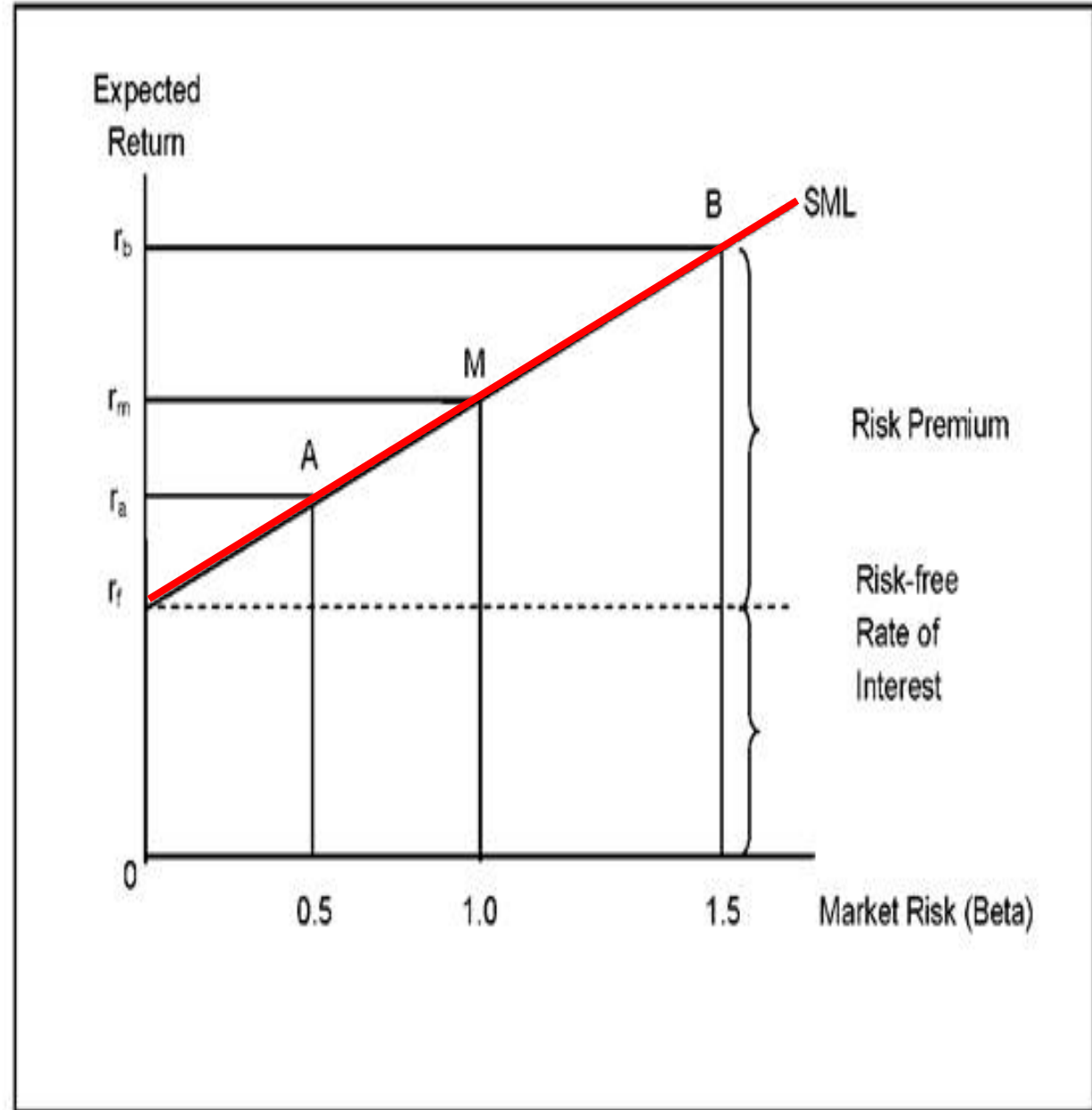
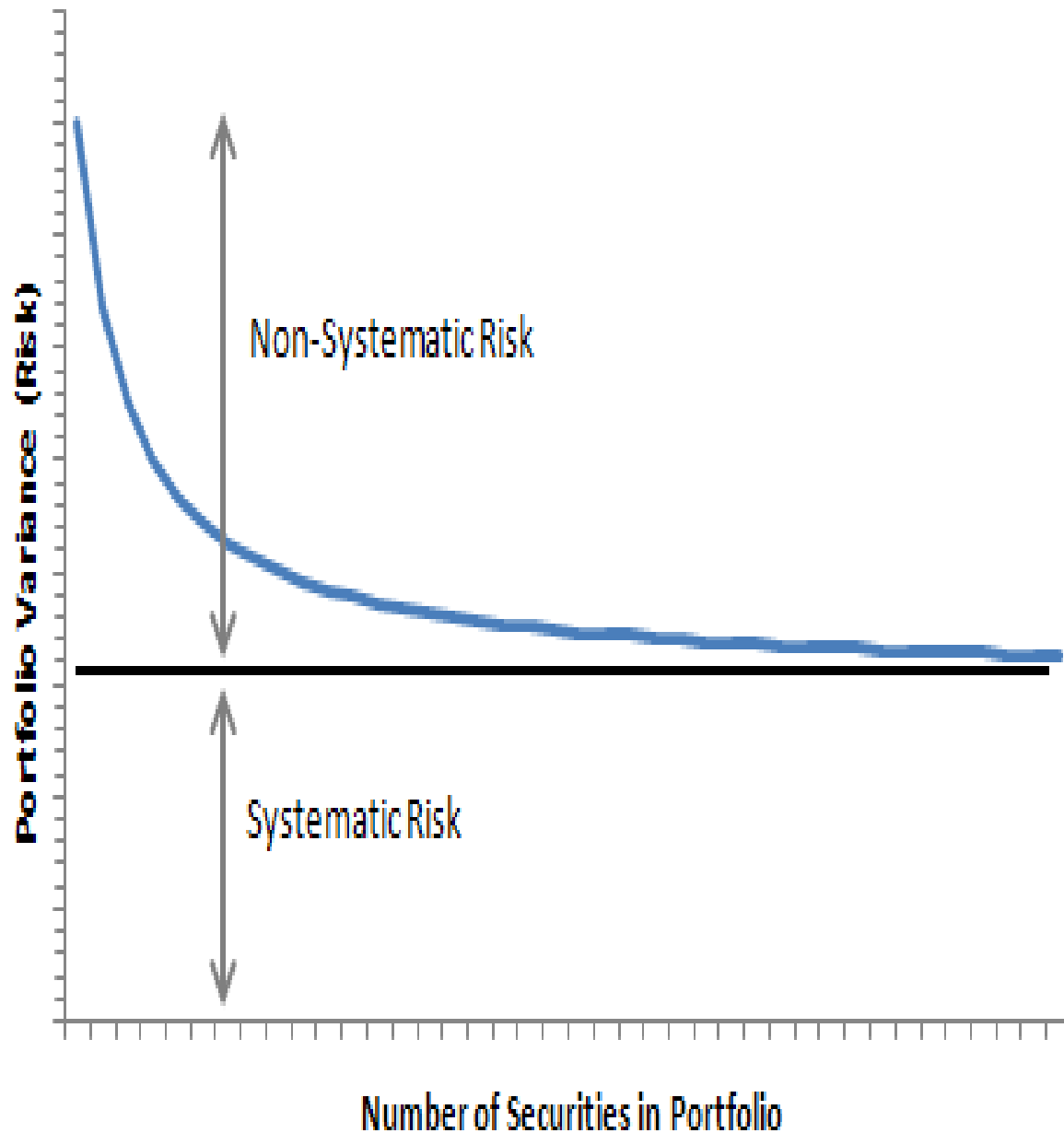
SDGsの観点で
着目する領域

中長期的な投資リターンの向上・企業価値の向上に繋がる形で実現(その3)



リスクとリターンの関係(資本資産価格モデル:CAPM)

ウィリアム・シャープは、このリスクとリターンの関係に関する業績により1990年にノーベル経済学賞を受賞。



インパクトとリスク・リターンとの関係?

